

## 社会资本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年01月26日

計画の名称	浸水被害に対応する下水道整備事業（防災・安全）（重点）											
計画の期間	令和04年度～令和06年度（3年間）											
交付対象	相模原市											
計画の目標	近年多発しているゲリラ豪雨や台風等の大雨による浸水被害を軽減・解消するため、公共下水道の整備・改築を推進し、安全・安心な生活環境の向上を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,708	A	1,708	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0%

番号	計画の成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2末)	R5末	R6末
1	R2年度末 55.6%→R6年度 56.0%（都市浸水対策達成率） 下水道による都市浸水対策が必要な区域のうち、概ね1/5確率の降雨に対して下水道整備により内水浸水被害が防止できる割合（都市浸水対策達成率）を56%（R6年度末）に上昇させる。 下水道整備済区域÷下水道による都市浸水対策が必要な区域=都市浸水対策達成率	55%	55%	56%
2	R2年度末 66.6%→R6年度 100%（施設耐水化実施率） 概ね1/50確率の降雨に対して揚水機能の確保ができる割合（施設耐水化実施率）を100%とする。 揚水機能確保済施設（ポンプ場）÷市内ポンプ場施設=施設耐水化実施率	66%	83%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input checked="" type="checkbox"/>	国土強靭化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>
下水道施設耐水化計画												

A 基幹事業																		
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）	全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況			
		一體的に実施することにより期待される効果													R04 R05 R06 R07 R08			
		備考																
下水道事業	A07-001	下水道	一般	相模原市	直接	相模原市	管渠（雨水）	新設	公共下水道境川第28バ イパス雨水幹線整備事業	Φ2200mm 推進工法 L=43m Φ2000mm 推進工法 L=300m	相模原市	■ ■ ■			540		—	
	A07-002	下水道	一般	相模原市	直接	相模原市	管渠（雨水）	新設	公共下水道境川第12-B ーイ雨水幹線整備事業	□2500mm×2500mm開削工法 L=0.07km Φ2600mm推進工 法 L=0.24km 詳細設計	相模原市	■ ■			423		—	
	A07-003	下水道	一般	相模原市	直接	相模原市	管渠（雨水）	新設	公共下水道津久井雨水2 号幹線整備事業	Φ2000 推進工法 L=0.35km	相模原市	■ ■			526		—	
	A07-004	下水道	一般	相模原市	直接	相模原市	管渠（污水）	新設	公共下水道相模原系統整 備事業	Φ200mm 推進工法 L=0.29km Φ200mm 開削工法 L=0.13k m	相模原市	■ ■ ■			71		—	
	A07-005	下水道	一般	相模原市	直接	相模原市	—	—	内水ハザードマップ等策 定事業	内水浸水想定区域図の作成	相模原市	■			28		—	
	A07-006	下水道	一般	相模原市	直接	相模原市	ポンプ場	改築	公共下水道汚水ポンプ場 耐水化事業	施設耐水化 2箇所	相模原市	■ ■ ■			120		策定済	
		耐水化計画（R3策定済）																

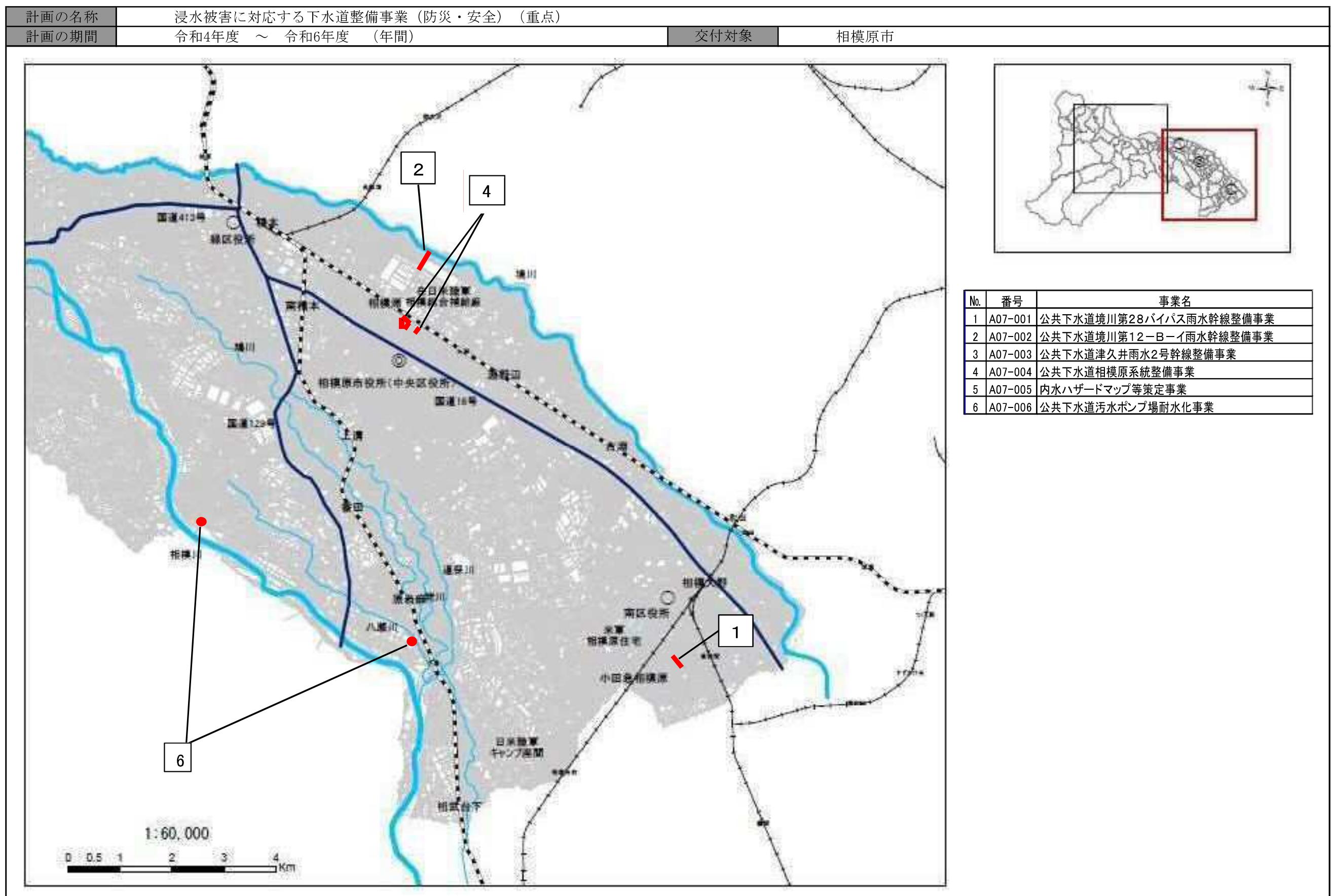
A 基幹事業

## 交付金の執行状況

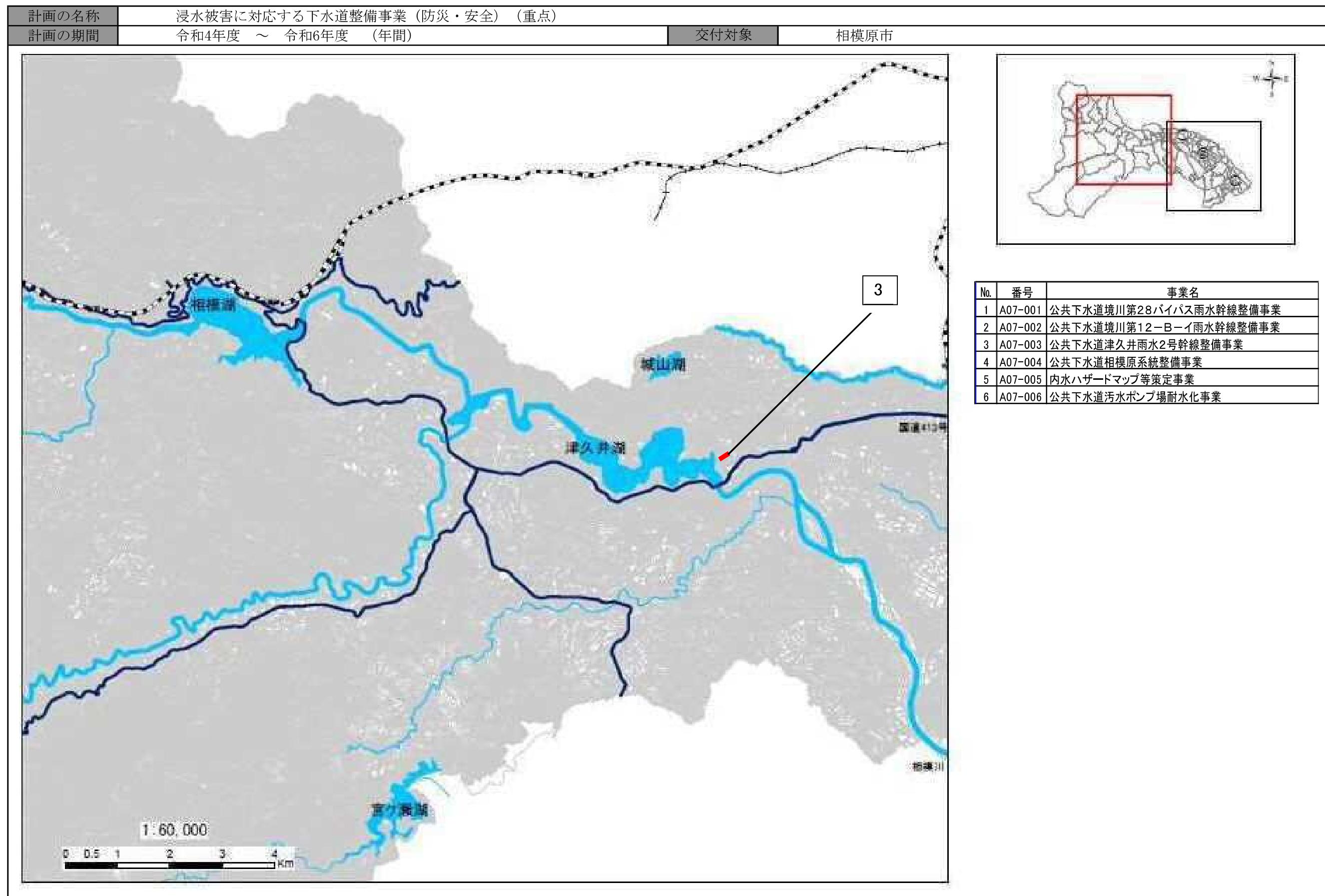
(単位：百万円)

	R04	R05	R06		
配分額 (a)	259	116	190		
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	259	116	190		
前年度からの繰越額 (d)	155	276	75		
支払済額 (e)	95	294	43		
翌年度繰越額 (f)	319	75	222		
うち未契約繰越額(g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	23	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	5.86	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えてる場合の理由					

(参考図面)



(参考図面)



## 事前評価チェックシート

計画の名称：浸水被害に対応する下水道整備事業（防災・安全）（重点）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性	<input type="radio"/>
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	<input type="radio"/>
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	<input type="radio"/>
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	<input type="radio"/>